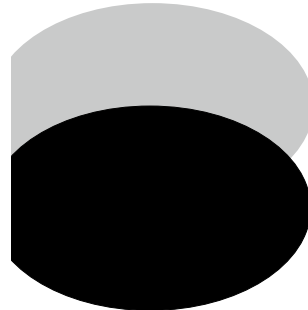


20161220

絵本学会 NEWS No.56

発行：絵本学会
発行日：2016年12月20日
編集：絵本学会広報委員会
絵本学会事務局：〒164-8676 東京都中野区本町2-9-5
東京工芸大学 芸術学部 陶山研究室気付
E-mail office@ehongakkai.com
http://www.ehongakkai.com



絵本学会

第20回絵本学会大会 研究発表・作品発表募集
第19回絵本学会総会報告
絵本学会理事会議事録

絵本学会20周年記念大会(第20回絵本学会大会)は2017年5月3日(水)・4日(木)にフェリス女学院大学緑園キャンパス(横浜市泉区緑園4-5-3)で開催されることになりました。研究発表、作品発表を希望される会員は、以下の要項を参照してお申し込みください。

第20回 絵本学会大会 研究発表募集要項

1. 発表者の資格(応募資格)：

絵本学会の会員で、2016年度までの会費を納入済であること。新規入会者の場合は、2017年1月20日(金)の時点で入会手続きが完了していること。

2. 発表テーマ：

絵本及び絵本に関連のある研究テーマで未発表のもの

3. 発表時間：

発表 20 分間 質疑応答 10 分間

4. 申し込み要領：

①発表テーマ、②発表者の氏名・住所・電話/FAX 番号・メールアドレス、③所属機関名・職業など、④発表要旨(800 字程度/大会プログラム用原稿)、⑤発表時に使用する機材(パソコン、PC プロジェクター、書画カメラ等)、以上の①～⑤について、文書化したものを絵本学会事務局宛に郵送またはメールでお届けください。

5. 申し込み期間：

2017年2月1日(水)～2月24日(金) [期間内に必着]

6. 発表者の決定：

研究発表は、発表申込者多数の場合、発表要旨に基づいて審査する場合があります。発表順・時間等は、3月24日(金)までにお知らせします。

*受理した原稿等は返却しませんので、必ず控えをとってください。

第20回 絵本学会大会 作品発表募集要項

大会会場に会員の作品を展示し、会期中の所定の時間(大会2日目)に実施予定)に出品者自らが制作趣旨を口頭で発表していただくことを条件とします。

1. 発表者の資格(応募資格)：

2. 発表作品：

未発表の絵本(個人制作、共同制作とも可)

3. 発表形態：

判型・サイズ・頁数等は自由。原画を原寸でカラーコピーしたシートの全画面と、カラーコピーなどで製本したものを1冊出品すること。

4. 申し込み要領：

①作品タイトル、②発表者の氏名・住所・電話/FAX 番号・メールアドレス、③所属機関名・職業など、④原画サイズ・枚数、⑤作品紹介原稿(200 字程度)以上の①～⑤について、文書化したものを絵本学会事務局宛に郵送またはメールでお届けください。

5. 申し込み期間：

2017年2月1日(水)～2月24日(金) [期間内に必着]

6. 発表者の決定：

作品発表は、発表申込者数多数の場合、作品紹介要旨に基づいて審査する場合があります。作品搬入の期日・方法、発表順・時間等については、3月24日(金)までにお知らせします。これらの詳細は第20回絵本学会大会実行委員会より連絡します。

【研究発表・作品発表お申し込み先】

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学芸術学部 陶山研究室気付 絵本学会事務局
E-mail: office@ehongakkai.com

*発表内容と当日の記録写真は、絵本学会NEWS およびホームページを通じて公開されることがありますのでご了承ください。

絵本学会第19回定期総会報告

日時：2016年5月28日(土) 16:40～17:40

会場：京都女子大学(京都市東山区)

議長：生田美秋 書記：本庄美千代

出席者数：59名、委任状提出者数129名

1. 開会の辞

司会を務めた佐藤博一理事より開会の辞が述べられ、第19回定期総会が開会した。

開会にあたり、出席者数59名、委任状129名の総数が確認され、総会が成立したことが述べられた。

2. 議長・書記選出

議長に生田美秋氏、書記に本庄美千代が選出された。

3. 会長挨拶

松本猛会長より、第19回定期総会開催にあたり、挨拶が述べられた。

4. 2015年度活動報告

陶山恵事務局長より、資料に基づき、下記のような2015年度活動報告がなされ、承認された。

◆ 絵本学会 2015年度活動報告

◎ 第18回絵本学会大会の開催

2015年5月29日(土)、5月30日(日)

東京工芸大学芸術学部(東京都中野区)

テーマ：「絵本という交差点」

参加者 会員132名、一般45名、学生127名 合計304名

◎ 企画委員会の活動

- 絵本フォーラムの開催

2015年11月29日(日)

東京工芸大学芸術学部(東京都中野区)

テーマ：「自然と社会と絵本と。」

出演絵本作家：飯野和好、はたこうしろう、村上康成

司会：松本猛

コメンテーター：原島恵

参加者 103名

◎ 紀要委員会の活動

- 絵本学会研究紀要『絵本学』第18号の刊行

- 「2015年度絵本参考文献目録」「絵本研究参考文献目録(海外)」「2015年絵本原画展・絵本画家展リスト」の作成

◎ 機関誌編集委員会の活動

- 機関誌『絵本BOOK END 2015』の刊行

◎ 研究委員会の活動

- 研究会の開催

2015年12月12日(土)

日本女子大学(東京都文京区)

テーマ：「視覚表現、造形手法 もうひとつの見方ーしかけ絵本を中心にー」

ゲストスピーカー：

今井良朗(武蔵野美術大学芸術文化学科教授)

渡邊千夏(造形作家、絵本作家)

参加者 46名

- 絵本研究助成(3件、各5万円)

1) 申請代表者：中野千都

研究課題：「遊びの展開のきっかけとなる絵本」に関する調査 ー保育所保育士の絵本選択と保育者養成校実習生の絵本選択の比較ー

2) 申請代表者：前田君江

研究課題：《千夜一夜ボックス》「中東・イスラーム絵本」の翻訳・紹介活動 ー翻訳絵本の出版から、日本におけるイスラーム理解・ムスリム児童支援に向けてー

3) 申請代表者：矢野景子

研究課題：日本語を母国語としない乳幼児課程における絵本環境に関する研究

◎ 広報委員会の活動

- 『絵本学会 NEWS』の発行 54号(5月)、55号(11月)

- ウェブサイトのリニューアル、管理運営

- スマホ連携対応の展開

◎ 他学会等との連携

日本児童文学学会、日本イギリス児童文学学会との3学会連携シンポジウムの開催

2015年11月7日(土) 大阪教育大学(大阪府柏原市)

シンポジウム：児童文学研究のこれからを考える

登壇者：佐藤宗子(日本児童文学学会)

藤本朝巳(日本イギリス児童文学学会)

佐藤博一(絵本学会)

コーディネータ：三宅興子

◎ 「フォーラム・子どもたちの未来のために」との連携活動(実行委員会に参加)

① 2015年7月6日(日) 第2回学習会(於：専修大学)

講演：「秘密保護法がめざす“未来”」

講演者：青木理(ジャーナリスト)

② 2015年9月4日(金)(於：ちひろ美術館)

トークイベント：憲法と平和について考える集い

スピーカー：伊勢英子、きたやまようこ、浜田桂子、柳田邦男

ゲスト：細谷亮太

③ 2015年11月20日(金)(於：日本出版クラブ会館)

トークイベント：世界こどもの日記念トークイベント ー私たちは「立憲主義」と「民主主義」を取り戻すまで活動を続けますー

スピーチ：高畑勲、安保関連法案に反対するママの会、SEALDs

リレートーク：あさのあつこ、伊勢英子、那須正幹、長谷川義史、村上康成、柳田邦男

◎ 「日本絵本研究賞」創設準備

「公益社団法人全国学校図書館協議会」「毎日新聞社」との連携、広報活動の展開

◎ 日本学術会議協力学術団体への絵本学会の登録申請、実務開始

2016年度内に登録完了の見込み

◎ 入退会

入会者：個人27名

退会者：14名

* 総会員数：個人493名、準会員18名、賛助会員12団体

(2016年3月31日現在)

5. 2015年度決算・会計監査報告

陶山恵事務局長より、資料「2015年度決算報告書」にもとづき、会計報告がなされた。監査担当の香曾我部秀幸監事より事務局に提出された監査の結果、適正に記載、会計処理がなされていると認める旨の報告があった。また、香曾我部監事より監査報告書の日付の誤りについて訂正報告がなされた。

6. 2016年度活動計画案について

陶山恵事務局長より、資料に基づき2016年度活動計画案について説明がなされ、承認された。計画の概要は下記の通りである。

◆ 絵本学会 2016年度活動計画

◎ 第19回絵本学会大会の開催

2016年5月28日(土)、5月29日(日)

京都女子大学(京都市東山区)

テーマ：「絵本研究のあり方をめぐってー絵本学会創立20周年に向けてー」

◎ 企画委員会の活動

- 絵本フォーラムの開催

◎ 紀要編集委員会の活動

- 絵本学会研究紀要『絵本学』第19号の刊行準備

- 「2016年度絵本参考文献目録」「絵本研究参考文献目録(海外)」「2016年絵本原画展・絵本画家展リスト」の依頼、作成

◎ 機関誌編集委員会の活動

- 機関誌『絵本BOOK END 2016』の刊行

◎ 研究委員会の活動

- 研究会の開催
- 絵本研究助成の実施

◎ 広報委員会の活動

- 『絵本学会 NEWS』の発行(年3回の予定)

- ウェブサイトの管理運営

- メールニュースの導入

◎ 絵本学会会員名簿(2016年度版)の作成

◎ 他学会等との連携

◎ 「フォーラム・子どもたちの未来のために」との連携活動(実行委員会に参加)

◎ 「日本絵本研究賞」の創設、活動の開始

◎ 日本学術会議協力学術研究団体への絵本学会の登録

◎ 学会設立20周年記念事業の検討

◎ その他

第20回絵本学会大会の実施：2017年5月、フェリス女学院大学(横浜市泉区)

最後に、陶山恵事務局長から「紀要編集委員会」委員1名の増員について報告がなされた。

7. 2016年度収支予算案について

陶山恵事務局長より、資料「2016年度収支予算(案)」が示された。昨年度予算との主な変更点として、次の7点が述べられた。

- 学会会費未納者について納入回収に向けた作業を行う。
- 事業活動収入のうち「①受取会費収入」の賛助会員は現在12口だが、今後賛助会員15口の増加を目指す。予算案は15口の収入となっている。
- 事業活動収入のうち「①受取会費収入」は、会員数430名での会費収入で予算を立案する。
- 事業活動収入のうち「②事業収入 研究会収入」は参加費無料により収入を「0」とする。
- 印刷事業活動支出のうち「事業費支出 通信運搬費支出」について、郵送形態の変更のため増額する。
- 事業活動支出のうち「事業支出 広告費支出 HP更新作業費支出」について、一定の作業を終えたため予算額を変更する。
- 投資活動支出のうち、「20周年事業積立金」として500,000円を計上する。

以上、陶山恵事務局長より説明を終え、その結果、原案のとおり了承された。

8. その他の項目について

その他の項目については、審議を必要とする項目が提案はなかった。

9. 質疑応答

生田美秋議長より一括質疑として出席者に発言を求めたが、特に質疑はなくすべての審議を終え、閉会した。

以上

資料「2015年度決算報告書」 P.4・5
資料「財産目録(2016年3月31日現在)」 P.5
資料「2016年度収支予算(案)」 P.6・7

絵本学会 2015年度決算報告書

2015年4月1日～2016年3月31日

科目	予算額	決算額	差額(予算-決算)	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①受取会費収入	3,800,000	3,178,000	622,000	
賛助会員	300,000	200,000	100,000	20,000×15口(現在12団体)
正会員	3,440,000	2,940,000	500,000	8,000×344名(現在約493名)
準会員	60,000	38,000	22,000	4,000×9+2,000×1(現在18名)
②事業収入	260,000	214,640	45,360	
研究活動事業収入	60,000	14,640	45,360	
フォーラム収入	30,000	14,640	15,360	入場者収入
研究会収入	30,000	0	30,000	参加費収入
出版事業収入	200,000	200,000	0	『絵本BOOK END 2014』
③雑収入	140,200	133,989	6,211	
受取利息収入	200	101	99	
入会金収入	90,000	82,000	8,000	入会金2,000×41名
雑収入	50,000	51,888	-1,888	出版物在庫販売
事業活動収入合計	4,200,200	3,526,629	673,571	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	2,552,000	2,281,977	270,023	
人件費支出	400,000	405,000	-5,000	
事務局報酬支出	400,000	405,000	-5,000	事務局賃金等
事業費支出	2,152,000	1,876,977	275,023	
消耗品費支出	80,000	71,367	8,633	事務消耗品費
印刷製本費支出	930,000	667,563	262,437	
絵本学会ニュース	260,000	121,950	138,050	絵本学会NEWS 54.55号
研究紀要	500,000	501,811	-1,811	『絵本学』17号
会員名簿	20,000	0	20,000	
その他	150,000	43,802	106,198	封筒印刷代、払込書印字代
通信運搬費支出	260,000	489,826	-229,826	ニュース等発送費・通信費
旅費交通費支出	432,000	471,090	-39,090	理事旅費等(理事会5回/年)
会議費支出	10,000	541	9,459	
広告費支出	330,000	60,000	270,000	
印刷物制作費支出	50,000	0	50,000	
HP更新作業費支出	280,000	60,000	220,000	
振込手数料	10,000	9,720	280	
雑支出	100,000	106,870	-6,870	事務局移転に伴う経費分を含む
②活動費支出	1,430,000	1,077,756	352,244	
大会運営補助金支出	400,000	394,619	5,381	ポスター等制作費を含む
第18回絵本学会大会補助金	400,000	394,619	5,381	
専門委員会活動費支出	580,000	491,937	88,063	
企画委員会	200,000	200,000	0	フォーラム等
紀要編集委員会	100,000	100,278	-278	* 紀要編集等
機関誌編集委員会	100,000	36,450	63,550	『絵本BOOK END』編集
研究委員会	100,000	110,499	-10,499	研究会主催
広報委員会	80,000	44,710	35,290	『絵本学会ニュース』編集
研究助成費支出	150,000	150,000	0	
20周年事業支出	300,000	41,200	258,800	
絵本研究賞	300,000	41,200	258,800	**20周年事業として以後継続
③出版事業支出	1,250,000	1,408,536	-158,536	『絵本BOOK END 2015』
編集作業費支出	0	0	0	
制作費支出	1,250,000	1,408,536	-158,536	
事業活動支出合計	5,232,000	4,768,269	463,731	
事業活動収支差額	-1,031,800	-1,241,640	-209,840	

II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
	0	0	
投資活動収入計	0	0	
2. 投資活動支出			
20周年事業積立金	500,000	500,000	0
投資活動支出計	500,000	500,000	0
投資活動収支差額	-500,000	-500,000	0
III 財務活動の部			
1. 財務活動収入			
長期借入金収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
長期借入金返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
	200,000	29,392	-170,608 雑損出
当期収支差額	-1,731,800	-1,712,248	-19,552
前期繰越収支差額	5,257,825	5,257,825	0
次期繰越収支差額	3,526,025	3,545,577	-19,552

* 紀要編集等⇒2014年度より、絵本研究参考文献目録等作成費として50,000円含む

** 絵本研究賞の事業は、20周年事業として開始し、以後継続事業となる

財産目録

2016年3月31日現在

科目	金額		
I 資産の部			
I. 流動資産			
現金預金			
現金手元有高	415,562		
普通預金 リソナ銀行高槻支店	0		
普通預金 ゆうちょ銀行	253,695		
定額貯金 高槻天王郵便局	2,000,000		
絵本学会振替口座(20周年積立金100万円を含む)	1,276,320		
未収金	200,000		
次年度仮払い金(大会運営補助金)	400,000		
流動資産合計		4,545,577	
資産合計			4,545,577
II 負債の部			
I. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
負債合計			0
正味財産			4,545,577

次年度繰越金 4,545,577

絵本学会 2016年度収支予算(案)

2016年4月1日~2017年3月31日

科目	予算額	前年予算額	増減(前年度比)	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①受取会費収入	3,960,000	3,800,000	160,000	
賛助会員	300,000	300,000	0	20,000×15口(現在12団体)
正会員	3,600,000	3,440,000	160,000	8,000×430名(現在約500名)
準会員	60,000	60,000	0	4,000×10+2,000×10名
②事業収入	220,000	260,000	-40,000	
研究活動事業収入	20,000	60,000	-40,000	
フォーラム収入	20,000	30,000	-10,000	入場者収入
研究会収入	0	30,000	-30,000	参加費収入
出版事業収入	200,000	200,000	0	『絵本BOOK END 2015』
③雑収入	130,200	140,200	-10,000	
受取利息収入	200	200	0	
入会金収入	80,000	90,000	-10,000	入会金2,000×40名
雑収入	50,000	50,000	0	出版物在庫販売
事業活動収入合計	4,310,200	4,200,200	110,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	2,640,000	2,552,000	88,000	
人件費支出	400,000	400,000	0	
事務局報酬支出	400,000	400,000	0	事務局賃金等
事業費支出	2,240,000	2,152,000	88,000	
消耗品費支出	80,000	80,000	0	事務消耗品費
印刷製本費支出	1,060,000	930,000	130,000	
絵本学会ニュース	260,000	260,000	0	絵本学会NEWS 56.57.58号
研究紀要	550,000	500,000	50,000	『絵本学』18号
会員名簿	150,000	20,000	130,000	2016年度会員名簿作成
その他	100,000	150,000	-50,000	封筒印刷代、払込書印字代
通信運搬費支出	500,000	260,000	240,000	ニュース等発送費・通信費
旅費交通費支出	420,000	432,000	-12,000	理事旅費等(理事会5回/年)
会議費支出	10,000	10,000	0	
広告費支出	110,000	330,000	-220,000	
印刷物制作費支出	50,000	50,000	0	
HP更新作業費支出	60,000	280,000	-220,000	
振込手数料	10,000	10,000	0	
雑支出	50,000	100,000	-50,000	
②活動費支出	1,442,000	1,430,000	12,000	
大会運営補助金支出	400,000	400,000	0	ポスター等制作費を含む
第19回絵本学会大会補助金	400,000	400,000	0	
専門委員会活動費支出	592,000	580,000	12,000	
企画委員会	200,000	200,000	0	フォーラム等
紀要編集委員会	100,000	100,000	0	紀要編集等
機関誌編集委員会	80,000	100,000	-20,000	『絵本BOOK END』編集
研究委員会	100,000	100,000	0	研究会主催
広報委員会	112,000	80,000	32,000	『絵本学会ニュース』編集
研究助成費支出	150,000	150,000	0	
20周年事業支出	300,000	300,000	0	
絵本研究賞	300,000	300,000	0	*20周年事業として以後継続
③出版事業支出	1,350,000	1,250,000	100,000	『絵本BOOK END 2016』
編集作業費支出	0	0	0	
制作費支出	1,350,000	1,250,000	100,000	
事業活動支出合計	5,432,000	5,232,000	200,000	
事業活動収支差額	-1,121,800	-1,031,800	-90,000	

II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
	0	0	
投資活動収入計	0	0	
2. 投資活動支出			
20周年事業積立金	500,000	500,000	0
投資活動支出計	500,000	500,000	0
投資活動収支差額	-500,000	-500,000	0
III 財務活動の部			
1. 財務活動収入			
長期借入金収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
長期借入金返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
	200,000	200,000	0
当期収支差額	-1,821,800	-1,731,800	-90,000
前期繰越収支差額	3,545,577	3,545,577	0
次期繰越収支差額	1,723,777	1,813,777	-90,000

* 絵本研究賞の事業は、20周年事業として開始し、以後継続事業となる

絵本学会理事会報告

● 2015年度 第4回絵本学会理事会 議事録

日 時：2015年10月4日(日) 14:00 -

会 場：東京工芸大学中野キャンパス2号館3階アトリエ2

出席者：松本猛(会長) 陶山恵(事務局長) 生田美秋 佐藤博一
澤田精一 永田桂子 本庄美千代 松本育子 村上康成
和田直人 川勝泰介(第19回大会関連の審議事項のみ)

○報告事項

1. 会長挨拶

松本猛会長より、第4回理事会の開催挨拶があった。

2. 前回(第3回絵本学会理事会)議事録の確認

第3回絵本学会理事会議事録の確認があり、承認された。

3. 第18回絵本学会大会(2015年度)について

大会実行委員長(陶山事務局長)より報告があり、収支決算報告書が示され、承認された。

4. 各委員会報告

1) 企画委員会

2015年絵本学会フォーラム企画「自然と社会と絵本と ~絵本作家による鼎談~」開催準備について報告があった。開催日時、会場、登壇者、参加費の設定等について確認され、承認された。

2) 紀要編集委員会

2015年度紀要「絵本学」への投稿状況について報告があった。投稿論文は7本であったことが報告された。投稿規定について、「当該年度8月31日までに会員資格を有していること」「規定の改廃は理事会の審議を経て決定される」を加えることが決定した。

紀要に収録される文献目録に、海外の研究文献も加えることが報告された。

3) 機関誌編集委員会

機関誌『絵本 BOOK END 2015』の進捗状況について報告があった。『絵本 BOOK END 2016』以降の刊行予定についてスケジュールが報告され、学会大会開催以前に刊行する形に整えていく旨報告があった。絵本原画展の記録を紀要に掲載することが提案され、継続審議となった。

朔北社との契約の件について、継続審議となった。

4) 研究委員会

2015年度絵本研究会についての報告があった。研究助成募集の配布物は学会 NEWS 55号の発行前に研究会のちらしとともに郵送することとなった。

5) 広報委員会

絵本学会ウェブサイトのリニューアル計画について報告があった。学会 NEWS (55、56、57号)の発行計画について報告があった。

6) 特別委員会(日本絵本研究賞)

日本絵本研究賞募集要項について、進捗状況が報告された。審査規

定について継続して検討が必要であり、特別委員会での継続審議が行われることとなった。

5. 後援事業について

下記の事業について後援の申込があり、後援を行うこととなった。
・静岡文化芸術大学「ユニバーサルデザイン絵本コンクール」
・ちひろ美術館「まるごとちひろ美術館・世界で最初の絵本美術館」
・板橋区立美術館他「描かれた大正モダン・キッズー婦人之友社『子供之友』原画展

○審議事項

1. 入退会者について(4月12日~10月3日分)

入会者：水澤祐美子、奥泉香、坂部仁美、有福一昭、和田朝美、堤嘉代、前田君江、片平朋世、佐々木美和 計9名

退会者：村井貴、安達保雄、矢萩恭子、林伸子、森本和子 計5名

2. 第19回絵本学会大会(2016年度)について

大会実行委員長・川勝泰介会員より、準備状況についての報告があり、審議の上承認された。

3. 絵本学会20周年記念事業について

松本猛会長より絵本に対して大きな関心を広げることができるようなイベントの開催、記念誌の刊行等の提案があり、継続審議となった。併せて、第20回絵本学会大会開催計画についても継続審議となった。

4. 日本学術会議登録について

書類を作成して申請する段階まで作業が進んでいることが報告された。申請時期については、ウェブサイトの公開に合わせる計画であることが報告された。

5. BIB50周年に対する対応について

BIB50周年事業について、展覧会の巡回に併せてシンポジウムなどが共同開催できないかという提案が BIB 日本事務局から松本猛会長のもとに届いたことが報告された。2016年7月を目処に対応が可能かどうかを継続審議することとなった。

6. 学会活動に関わる担当者の交通費等の必要経費について

適正に経費が支払われるよう、次年度予算に計上することとし、継続審議となった。

・次回理事会開催日程

次回理事会開催は下記のようになった。

日時：2015年12月20日 14:00~

場所：東京工芸大学中野キャンパス2号館3階アトリエ2

● 2015年度 第5回絵本学会理事会 議事録

日 時：2015年12月20日(日) 14:00 -

会 場：東京工芸大学中野キャンパス2号館3階アトリエ2

出席者：松本猛(会長) 陶山恵(事務局長) 生田美秋 佐藤博一
澤田精一 永田桂子 本庄美千代 松本育子 村上康成
和田直人 川勝泰介(第19回大会関連の審議事項のみ)

○報告事項

1. 会長挨拶

松本猛会長より、第5回理事会の開催挨拶があった。

2. 前回(第4回絵本学会理事会)議事録の確認

第4回絵本学会理事会議事録の確認があり、承認された。

3. 各委員会報告

1) 企画委員会

11月29日開催のフォーラム企画開催終了について報告された。

2) 紀要編集委員会

紀要「絵本学」18号の投稿論文採否の結果(投稿7編のうち5本採用)が報告された。

紀要に「報告」として目録等3編を加えることが報告された。

3) 機関誌編集委員会

機関誌『絵本 BOOK END 2015』の刊行について報告された。

4) 研究委員会

2015年度研究助成について、応募12本のうち審査を経て3本の採用が決定されたことが報告された。

2016年度研究助成については、次年度予算が決定された後すぐに募集を始める予定であることが報告された。

12月12日に2015年度研究会が開催され、47名(会員は10名程度)参加であったことが報告された。

5) 広報委員会

学会 NEWS 55号の発行が10月18日に終了、56号の刊行予定について報告された。

11月上旬に日本児童文学学会、イギリス児童文学会、絵本学会の三学会連携の会議が開かれ、ウェブサイトでも連携をはかることを計画していることが報告された。

6) 特別委員会(日本絵本研究賞)

日本絵本研究賞について、今後の告知の展開等、活動計画について報告された。

4. 後援事業について

下記の事業について後援の申込があり、後援を行うこととなった。
・ちひろ美術館「〈企画展〉『はしれ、トト!』チョウンヨンの絵本づくり展」
・軽井沢絵本の森美術館「ピーター・パンの世界~2つの物語~」

5. 「フォーラム子どもたちの未来のために」

絵本学会が実行委員会構成団体となっている「フォーラム子どもたちの未来のために」の活動において、11月20日開催の集会で「緊

急アピール」が発表されたことが報告された。

○審議事項

1. 入退会者について(10月4日~12月20日分)

入会者：今津尚子、福田浩久 計2名

退会者：佐藤愛子、竹迫祐子、中山由紀子、上月素子、金永順 計5名

2. 第19回絵本学会大会(2016年度)について

大会実行委員長・川勝泰介会員より、テーマを「絵本研究のあり方をめぐって」とすることが報告され、承認された。

シンポジウム、ラウンドテーブルのテーマ、登壇者・コーディネーターについては、今後の検討とすることとなった。

発表申し込みの受付については、学会 NEWS 55号にて告知を済ませた。

人形劇の上演にあたり、子どもの観客を入場可能にしてほしいという要望があり、承認された。

3. 機関誌編集委員会より

・朔北社との出版契約の継続について報告があり承認された。

・「絵本原画展」データの「紀要」への掲載について承認された。

・『絵本 BOOK END』の表記について以下のように統一することとなった。

例：「絵本 BOOK END」2015 通巻12号

・「絵本 BOOK END」2016 刊行計画について、見積もりをとって計画を見直すこととなった。

4. 広報委員会

「絵本学会ニュースメール」を導入することが審議され、2016年4月以降より運用開始に向けて準備を進めることが決定した。

広報委員会も学会名簿を管理することが承認された。

5. 日本学術会議協力学術団体への登録について

申請書類の作成を進め、申し込みを2015年度内に行うこととなった。

6. BIB50周年に対する対応について

継続審議となった。

7. 第20回絵本学会大会開催計画について

首都圏での開催を目指して検討することとなった。

8. 絵本学会20周年記念事業について

継続審議となった。

・次回理事会開催日程

次回理事会開催は下記のようになった。

日時：2016年2月16日 14:00~

場所：東京工芸大学中野キャンパス2号館3階アトリエ2

● 2015年度 第6回絵本学会理事会 議事録

日 時：2016年2月16日(日) 14:00 -

会 場：東京工芸大学中野キャンパス2号館3階アトリエ2

出席者：松本猛(会長) 陶山恵(事務局長) 生田美秋 永田桂子

本庄美千代 松本育子

委 任：佐藤博一 澤田精一 村上康成 和田直人

○報告事項

1. 会長挨拶

松本猛会長より、第6回理事会の開催挨拶があった。

2. 前回(第5回絵本学会理事会)議事録の確認

第5回絵本学会理事会議事録の確認があり、承認された。

3. 各委員会報告

1) 企画委員会 特になし

2) 紀要編集委員会

絵本学会紀要「絵本学」第18号の発行進捗状況について、論文3本、ノート1本、論説1本、依頼報告3本を掲載する予定であることが報告された。

3) 機関誌編集委員会

『絵本 BOOK END 2015』の販売状況について、TRC データに基づいて報告された。

4) 研究委員会 5) 広報委員会 6) 特別委員会(日本絵本研究賞)
特になし

4. 事務局より(後援事業について)

下記の事業について後援の申込があり、後援を行うこととなった。

・ちひろ美術館「Asian Festival of children's Content 2016 Country of Fouce: japan」

・ちひろ美術館「〈企画展〉村上春樹とイラストレーター ― 佐々木マキ、大橋あゆみ、和田誠、安西水丸―」

○審議事項

1. 入退会者について(12月21日~2月21日分)

入会者：宇田川晶子、木戸まや、児玉茜、日高直人、河合高鋭、蔵永奈津美 計6名

退会者：長谷川和子 計1名

第19回絵本学会大会での発表者資格については、既報の通り、2016年1月29日現在で会員資格を持つものという規定を厳守することとなった。

2. 各委員会より

1) 企画委員会

「BIB50周年ブラティスラヴァ世界絵本原画展関連プログラム」の企画案が研究委員会との合同企画として提出され、2017年1月~2月に千葉市美術館で開催する企画案が承認された。

また、研究委員会としての独自企画が必要であるとされ、継続審議となった。

2) 紀要編集委員会

絵本学会紀要「絵本学」第18号の印刷製本代見積もりが、予算を超えることが報告され、必要な経費ということで承認された。

3) 機関誌編集委員会

『絵本 BOOK END 2016』の刊行準備について、2016年6月上旬刊行予定で進行していること、内容・ページ数等の仕様についての審議があり、承認された。また、「絵本 BOOK END 2017」を「絵本学会創立20周年記念号」とすることが提案され、掲載内容について継続審議となった。

4) 研究委員会

2016年度の活動計画として、企画委員会との合同企画が提案され、開催時期が2016年10月~11月、兵庫県立歴史博物館にて開催されることが審議され、承認された。また、研究委員会としての独自企画が必要であるとされ、継続審議となった。

5) 広報委員会 特になし

6) 特別委員会(日本絵本研究賞)

3月29日開催の日本絵本賞表彰式において、日本絵本研究賞が新設されることを発表すること、「日本絵本研究賞」の告知活動として、チラシ等の準備を進めることが審議され、承認された。

3. 第19回絵本学会大会(2016年度)について

準備が進められていることが報告され、承認された。

4. 第20回絵本学会大会(2017年度)について

会場の選定が検討され、継続審議となった。

5. 日本学術会議協力学術団体への登録について

継続審議となった。

6. BIB50周年に対する対応について

継続審議となった。

7. 第20回絵本学会大会開催計画について

首都圏での開催を目指して検討することとなった。

8. 絵本学会20周年記念事業について

継続審議となった。

● 2016年度 第1回絵本学会理事会 議事録

日 時：2016年4月2日(日) 14:00 -

会 場：東京工芸大学中野キャンパス2号館3階アトリエ2

出席者：松本猛(会長) 陶山恵(事務局長) 澤田精一 永田桂子

本庄美千代 松本育子 村上康成

委 任：生田美秋 佐藤博一 和田直人

○報告事項

1. 会長挨拶

松本猛会長より、2016年度第1回理事会の開催挨拶があった。

2. 前回(2015年度第6回絵本学会理事会)議事録の確認

第6回絵本学会理事会議事録の確認があり、承認された。

3. 各委員会報告

1) 企画委員会 特になし

2) 紀要編集委員会

絵本学会紀要「絵本学」第18号の発行進捗状況について、全8本の原稿掲載、96ページ(カラー2ページ)となることが報告された。発行、発送は、第19回絵本学会大会開催後になることが報告された。

3) 機関誌編集委員会

『絵本 BOOK END 2016』が6月刊行予定であると報告された。

4) 研究委員会

研究助成採択者に対して報告書と収支報告書をとりまとめていることが報告された。

2016年度の研究助成募集案内はチラシを制作し、学会からの発送物の中に同封することが報告された。

5) 広報委員会

学会ニュース56号の刊行は2016年度扱いにするとの検討がされ、承認された。

6) 特別委員会(日本絵本研究賞)

3月29日に日本絵本賞表彰式に会長、事務局長、永田理事が出席、表彰パーティーの中で日本絵本研究賞新設を口頭で発表したことが報告された。

4. 事務局より 特になし

○審議事項

1. 入退会者について(2月22日~4月1日分)

入会者：杉本諒 計1名

2. 事務局より

2015年度決算報告および2016年度年度予算案について、検討され、承認された。

3. 各委員会より

各委員会より、2015年度活動収支報告書が提出され、承認された。日本絵本研究賞の告知のためのチラシ作成について審議され、承認された。

4. 第19回絵本学会大会(2016年度)について

大会開催計画進捗状況が審議され、承認された。

5. 第20回絵本学会大会(2017年度)について

フェリス女子大学(神奈川県横浜市)での開催に向けて準備することが審議され、承認された。

6. 絵本学会20周年記念事業について

「絵本学会創立20周年事業」のイベント企画などが検討され、継続審議となった。

● 2016年度 第2回絵本学会理事会 議事録

日 時：2016年5月28日(土) 10:00 -

会 場：京都女子大学 U314(児童学科共同研究室)

出席者：松本猛(会長) 陶山恵(事務局長) 生田美秋 佐藤博一

澤田精一 永田桂子 本庄美千代 松本育子 和田直人

川勝泰介(第19回大会関連の審議事項のみ)

委 任：村上康成

理事会開催にあたって、第19回絵本学会大会実行委員長・川勝泰介会員より開催前の報告があった。

○報告事項

1. 会長より

松本猛会長より、開会の挨拶があった。

2. 前回(2016年度第1回絵本学会理事会)議事録の確認

第1回絵本学会理事会議事録の確認があり、承認された。

3. 各委員会報告

1) 企画委員会

2016年度の活動として、研究委員会と合同でということでフォーラム企画を予定、会場の都合により2017年1月か2月の開催を企画しているとの報告があった。

2) 紀要編集委員会

絵本学会紀要「絵本学」第18号は700部の作成となったことが報告された。依頼原稿執筆者への進呈部数について、委員会内で検討して審議をはかることとし、抜き刷りの発送について海外在住者への郵送は、当該会員の情報および、郵送方法について再検討することが報告された。

3) 機関誌編集委員会

『絵本 BOOK END 2016』が6月20日納品予定であることが報告された。

4) 研究委員会

2016年度の研究助成について、6月17日締め切りであることが報告された。2016年度の研究会については、企画委員会との合同で進めていることが報告された。

5) 広報委員会

3月下旬以降、ウェブサイトをスマートフォン対応にリニューアルしたことが報告された。

メールニュース導入準備を進めていることが報告された。

学会ニュース56号は6月中旬に発行予定であることが報告された。

6) 特別委員会(日本絵本研究賞)

毎日新聞での告知について、ウェブサイトのURLと応募要項についてword版とPDF版の両方が掲載されているが、PDF版のみの掲載(word版の掲載を削除する)ことが報告された。

4. 「フォーラム 子どもたちの未来のために」について

絵本学会理事会での担当理事として、澤田理事が担当することが報告された。

○ 審議事項

1. 入退会者について(4月2日～5月26日分)

入会者: 松井友子、本谷宇一、金子亜弥、望月富美子、金山愛子、
桐原美恵子、松永幸代、かわこうせい、長谷川美和、玉井智子、
甲木善久 計11名
退会者: なし

2. 事務局より

特になし

3. 各委員会より

1) 企画委員会 特になし

2) 紀要編集委員会

紀要編集委員の増員が審議され、辻雅博会員が推薦されて決定した。

3) 機関誌編集委員会 特になし

4) 研究委員会 特になし

5) 広報委員会

メールニュースの導入について、早急な対応に向かうことが審議され、決定した。運営の骨格については、継続審議となった。

6) 特別委員会(日本絵本研究賞) 特になし

4. 第20回絵本学会大会(2017年度)について

第20回絵本学会大会担当理事は、生田理事、和田理事に決定した。
開催予定日は2017年5月5日(金)・6日(土)、フェリス女学院
大学が会場となることが決定し、第19回絵本学会総会において発表することとなった。

5. 絵本学会20周年記念事業について

生田理事、和田理事、澤田理事、松本(育)理事が担当となり、計画の素案を作って理事会に提案、その後、理事会での審議をはかることとなった。

6. 日本学術会議協力学術研究団体への登録について

会員名簿の作成時にデータを収集する必要があることが審議され、作業を進めることとなった。

● 2016年度 第3回絵本学会理事会 議事録

日時: 2016年6月26日(日) 13:00 -

会場: 東京工芸大学中野キャンパス2号館3階アトリエ2

出席者: 松本猛(会長) 陶山恵(事務局長) 生田美秋 澤田精一
永田桂子 本庄美千代 松本育子 村上康成 和田直人

委任: 佐藤博一

○ 報告事項

1. 会長挨拶

松本猛会長より、2016年度第3回理事会の開催挨拶があった。
今回の理事会は第20回絵本学会大会および、絵本学会20周年記念
事業についての審議事項に絞っての会議であることが確認された。

2. 前回(2016年度第2回絵本学会理事会)議事録の確認

第2回絵本学会理事会議事録の確認があり、承認された。

3. 各委員会報告

1) 企画委員会

2016年度絵本研究会の計画について報告があった。研究委員会と
企画委員会の合同企画は、2017年3月までに開催予定。

2) 紀要編集委員会、3) 機関誌編集委員会、4) 研究委員会、

5) 広報委員会、6) 特別委員会(日本絵本研究賞) 特になし

4. 事務局より

2016年度の理事会開催日程について、計画が提案され、承認された。

○ 審議事項

1. 第20回絵本学会大会および絵本学会設立20周年記念事業について

・大会開催に合わせた記念事業と、設立20周年記念事業は別立て
で計画することが確認された。

・設立20周年記念事業のひとつとして、日本絵本研究賞の発足を
行うことが確認された。

・大会開催に合わせた記念事業(基調講演、シンポジウム等)と、
設立20周年記念事業(絵本学会史のドキュメンテーション化、
記念出版等の企画)などについて、各理事より考える企画案な
どの収集を行った。

・記念企画について、生田理事、澤田理事、和田理事、松本育子理
事が計画担当理事として素案を作成することとなり、次回理事会
までに検討を続けることとなった。

2. 後援事業について

以下の後援事業について審議され、承認された。

・ちひろ美術館(東京)「あべの弘士の動物王国展」

・静岡文化芸術大学 文化・芸術センター「ユニバーサルデザイン
絵本コンクール2016」

・日本女子大学 シンポジウム「スタシス・エイドリゲーヴィチュス
ポスター、仮面、パフォーマンスを絵本に編み込む時」

このたび絵本学会広報委員長の不幸にて、「絵本学会
NEWS 56号」の制作が著しく遅延いたしましたことを
会員みなさまに深くお詫び申し上げます。